

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

新型コロナウイルスの感染は人種だけでなく種差を超えた（ヒトから猫に、ミンクからヒトに）、との報告が始めました。

ペットとして人気のフェレット（イタチ科）がインフルエンザにかかりやすいことは獣医の友人から聞いていましたが、新型コロナウイルスもその可能性があるかもしれません。大切なペットのためにも、まだしばらく気を付けて行動しましょう。

また、国内で14年ぶりに狂犬病が発生したというニュースが流れました。フィリピンから来日した人が発症したとのこと。日本では、犬の飼い主は生後90日を過ぎると狂犬病ワクチンを打つことや、その後毎年1回、4～6月に狂犬病の集団予防接種が義務付けられています。しかし今年は新型コロナウイルスの影響で、集団注射が中止になった自治体があると獣医から聞きました。外出を控えている中、飼い主がわざわざ獣医のところへ予防注射を受けに行くのが心配です。

人の場合、狂犬病の予防接種は任意です。海外旅行の際、訪れる国などによって打ちますが、もし噛まれた場合は計6回のワクチン接種をして発症を防がないとほぼ100%の致死率となります。

ちなみにイヌ用ワクチンとヒト用ワクチンは全くの別物です。気を付けましょう。